

高山駅周辺地区まちづくり協議会 第9回検討部会

議 事 録

日 時 平成22年5月18日(13:30~15:00)  
場 所 高山市役所 中会議室(4階)

1. 開 会
2. 基盤整備部参事挨拶
  
3. 部会長挨拶

#### 4. 議 事

##### 協議事項

総合交流センターの平面計画（案）について

「平面計画（案）を使用し交流センターについて説明する。」

##### 質疑応答（委員からの意見）

会長：駐車場の一般車両駐車台数は275台 1Fにバス専用駐車場が6台分か。

事務局：そうです。

委員：イベント開催時に渋滞が考えられるのではないか。

事務局：今後道路も整備され、イベント時には駐車場係も配置するため流れていくと考えている。

会長：無料駐車場であれば渋滞するが、ゲートによって一台ずつ通るのであれば渋滞はしないのでは。駐車場の中は混雑するかもしれない。

委員：駅を利用する人が駐車場を利用するのではないか。

事務局：利用すると思われる。それも想定した駐車場である。

委員：深夜もゲートで自由に出入りできるのか。

事務局：できる。

委員：図面右側（南側）は乗り降りするだけの場所なのか。

事務局：路線バスやタクシーの配置も考えている。

委員：特殊街路とは何か。

事務局：歩行専用の道路である。

会長：自転車は通れないのか。

事務局：自動車以外なら通ることはできる。自由通路があるので雨に濡れずに駐輪場まで行ける。また、自転車については別の通路もある。

委員：駅西駐車場には地下防火水槽があるが、建物の下に地下防火水槽は設置するのか。

事務局：予定はない。

会長：こういう物があつたら良いのでは等、いろいろな意見を出して欲しい。

委員：合同庁舎はどのくらいの機関が入るのか。

事務局：5つくらいと思われる。確実なのは税務署であるが、現在は足踏み状態である。

会長：合同庁舎も当分は分からないので、交流センターをにぎわいの場としていきたい。

委員：動線がはっきりしてきた。ポッポ公園とのつながりも出てきたので今後、更にポッポ公園も活用してもらえるのでは。

センター、ポッポ公園利用者の駐車場が狭いため、今後新しい駐車場を利用させて頂きたい。

報道を見た利用者の方から色々な意見が寄せられているが、クアアルプを想定している人が多い様に感じる。ジャグジーやサウナを設備して欲しいという声もある。幅広く多くの人の声を聞いて、有効な施設ができればよいと思う。

会長：健康増進施設については所管が健康推進課となる。プールに対する意見については小峠委員に様々な意見を集約して頂き、今回は施設に対しての意見を聞きたい。

事務局：情報発信を行うにはどの様な場所に配置したらよいのか

委員：販売をするわけではない。朝市もあるのであまりの事は出来ない。特産物のPR程度ならできるのでは。

会長：年に数回、地産地消を推奨するような事は考えられないか。

委員：JA祭りでPR等は行っている。支所地域もそれぞれイベントが開催されその中で行っているのでは。

委員：施設全体のインフォメーションの設置は。

事務局：情報コーナーの中でと考えている。

委員：高山市の公共施設や観光案内等、ここへ来ればすべてが把握できる様なインフォメーションの設置できればよいのでは。

委員：道路の交差点（アンダーパス出入口）は整備の予定は。

事務局：ない。

委員：交差点から駐車場出入口までの距離が近いと思われ、駐車場の出入口をゲートで管理する場合に、渋滞するのではないか。出入口は1ヶ所では少ないように思う。

事務局：イベント時は人員等を配置して対応する。

委員：文化会館でイベントがある場合もかなりの渋滞がある。駐車場から出るのに50分かかった人もいる。

会長：渋滞する可能性はある。駐車券を取った時にセンサーで空区画を誘導する装置等を検討してはどうか。

飛騨センターでイベントを行う際に第1駐車場でも、ガードマンを4人とシルバーを5～6人配置している。

会長：身障者用の駐車区画は

事務局：4区画である。

会長：4区画では少ないのではないかと。他市では、身障者用、高齢者用、マタニティー用の区画が整備された駐車場もある。地場産センターの様な狭い区画にしないようにして欲しい。

委員：プールは温泉か。

事務局：温水である。

委員：水を沸かすのか。エコからかけ離れていると感じる。地下水を浄化してプールに入れる等の方法も考えてはどうか。

事務局：地下水は利用する計画である。また、ペレットや太陽光も取り入れていく予定である。

委員：駐車場の料金設定は。

事務局：今後、運用の中で決めていく。

先ほどセンターについての意見を聞かせて頂きたいとあったが、プールについての意見も頂きたい。

会長：プールの上にトレーニング室が来るのか。

事務局：プールの上は吹き抜けである。

プールについては25mプールを6コース予定しており、歩くプールとの使い分けも考えている。

会長：ビックアリーナのトレーニングルームは盛況なのか。

事務局：そう聞いている。

委員：国府にも1ヶ所施設があるが、非常に好評である。キッズとジャグジーの中身を聞かせてほしい。

事務局：子供用プールについては30～40cmと50～60cmの2段の水深を考えている。すべり台については小さめの物を考えている。ジャグジーについては36℃～37℃で、プールを利用した人のホットバス的な設備である。

会長：健康増進施設に子供プールは必要なのか。何故子供プールがいるのかコンセプトをはっきりさせる必要がある。

事務局：高山市としては、子供から高齢者までの利用してもらえる施設を考えている。高齢者からは「子供プールは必要ない」とう声もあるが、子育て中の母親からは「子供プールはあって欲しい」という意見もあり非常に悩んでいる。

委員：児童センターに通う母親らは子供も遊べる場を必要としている。

事務局：時間帯によって棲み分けができないかと考えている。

会長：子育て中の母親は月に3～4回出かけるのが適度である。土日を除いた曜日で分けてもよいのではないか。また、運営の仕方の内容を決めて行っても良いと思う。市内には夏場に使用できるプールは何ヶ所あるのか。

事務局：B&Gや学校プール、市民プールもある。

委員：障害者にやさしい施設であって欲しいと思うが、スロープや手すりの整備計画は。

事務局：考えている。

委員：視覚障がい者に対して音声誘導するような設備も考えて頂きたい。

会長：観光客も利用できるのか。

事務局：誰でも利用できる施設をと考えている。

会長：夜を持て余している観光客はたくさんいると思われる。夜10時くらいまでは営業をしてほしい。

委員：クアアルプは安いイメージがある。

会長：市民に対しては減免料金等を設定してもよいのでは。

委員：駐輪場も月に5,000円～10,000円だと考えているのか。

事務局：今後、運用の中で決めて行きたい。

会長：受益者負担が原則であると思う。

委員：プールの利用者もトレーニングルームの利用者も同じ更衣室だが、数は足りるのか。

事務局：施設の規模で設定している。

会長：プールは最大で1度に何人くらい利用できるのか。

事務局：70人程度とと思っている。

会長：70人を超えると泳げないのか。

事務局：歩くことはできると思うが、泳ぐにはきびしいのでは。スタジオは20人程度、トレーニング室は20～30人、プールを合わせると120人程度である。

会長：MAXの利用で駐車場は120区画はいるということになる。

委員：利用の時間制限はあるのか。

事務局：特に定めていない。

委員：デッキからはキッズプールが見えるのか。

事務局：2Fと3Fにギャラリーがある。

委員：エレベーターで1Fから3Fまで直接行くことができると、受付を通らずに行けるのでは。

事務局：今後、運用の中で決めていく。

- 委員：自動販売機は設置するのか。
- 事務局：設置する。
- 会長：休息コーナーはあるのか。
- 事務局：リラックスルームがある。
- 委員：エレベーターにストレッチャーは入るのか。
- 事務局：確認する。急患の人が横になる場所はある。
- 委員：救急車は車高が高いが、2Fまで行けるのか。
- 事務局：確認する。
- 委員：運営方法は指定管理か直営のどちらか。
- 事務局：今後の検討課題である。
- 委員：オープンはいつ頃か。
- 事務局：24年の早い時期にと考えている。
- 会長：今年度中に実施設計か。
- 委員：県でも利用の少ない施設はある。時間や曜日で棲み分けを行ったり、利用者の声を聞きながらレイアウトを考えてはどうか。利用者が減らない施設を建築して頂きたい。
- 会長：多くの意見を頂いた。取りまとめをして明日のまちづくり協議会で報告する。

15:00 閉会